



記号	凡	例	備	考
○	スプリンクラーヘッド	高感度型1種	72℃ 0.1MPa・80 (l/min)	
○	自動警報弁	湿式	100A	
◇	末端試験装置	圧力計、弁、オリフィス		
□	連結送水管	双口埋込型	65A×65A×100A	
□	補助散水栓(単独型)	SUS製		
□	補助散水栓(単独型)	総合盤込型、弁25A、		
□	補助散水栓(単独型)	ホース25A 20m×1本、ノズル25A		
□	補助散水栓(単独型)	総合盤込型、弁25A、SUS製、		
□	補助散水栓(単独型)	ホース25A 20m×1本、ノズル25A		
□	放水口格納箱	単口弁65A		
△	フォームヘッド	水成膜用	0.25MPa・35 (l/min)	
▲	感知用スプリンクラーヘッド	上向用		
□	泡手動起動装置	15A		
○	一斉開放弁	減圧閥型	65A	
□	混合器		125A	
▲	自動警報弁	湿式(泡消火設備用)	125A	
×	仕切弁			
○	一次圧調整弁		65A	
▽	逆止弁			
□	フレキシブル継手			
□	フート			
—S—	スプリンクラー用配管	JIS-G-3452 (白)		
—F—	泡用配管	JIS-G-3452 (白)		
—D—	排水	JIS-G-3452 (白)		

註記

- ◇ 工事区分
(スプリンクラー、泡、連結送水管設備)
○ 一次側電気工事、表示警報用電気工事、自火報受信機に至る電気工事、非常電源、補助散水栓総合盤内蔵機器及び関連電気工事 — 電気工事
○ 一次側給水工事、図示以降の排水工事 — 衛生工事
○ 消火水栓、基礎工事 — 建築工事
- ◇ —→ 以降給水管に接続
◇ — 以降雑排水管に接続
- ◇ 泡消火設備の感知用配管は全て15Aとする
- ◇ 連結送水管の配管は全てsch40を使用する
- ◇ 吹き抜け部分の補助散水栓は全てSUS製とする。
- ◇ 埋設配管はベトロラム二重巻きとする

ポンプ吐出量・水源容量

設備名	同時個数(個)	基本吐出量 (l/min)	ポンプ吐出量 (l/min)	基本容量 (m³)	必要水源水量 (m³)
スプリンクラー	12	90	1080	1.6	19.2
泡消火設備	32	35	1120	0.35	11.2
必要水源容量合計 (m³)					30.4

泡原液容量

使用原液	ポンプ吐出量 (l/min)	原液容量 (l)	必要原液容量 (l)	使用原液送タンク容量 (l)
水成膜泡薬剤<3%型>	1120	336	336	400

*上記必要原液の他に配管内充原量として 78lを見込む

機器仕様

機器番号	機器名称	機器仕様	備考
SP-1	スプリンクラーポンプ	125 ^φ ×1080 (l/min)×95m×37kW・50Hz	*1
FP-1	泡消火ポンプ	125 ^φ ×1120 (l/min)×60m×22kW・50Hz	*1
FT-1	泡原液圧送タンク	400l型	
TF-1	消火用補助高架水栓	有効水量 (1.0m³)	鋼板製

1) 各ポンプは、消防認定品とする。
2) *1は、呼水栓100l、圧力タンク100l、器一体型とする。
2) *1は、呼水栓100l、圧力タンク100l、器一体型とする。

